

下田市からのお知らせ

今回の工作は、「下田ロープウェイ」です。

下田ロープウェイは、地上と寝姿山を結ぶロープウェイで、その寝姿山からは、伊豆三景の一つに数えられる絶景を見ることができます。

絶景の中に見える下田港は、古来より、東西海上交通の要衝となる重要な港でした。江戸時代には、風待ち港や物資の補給基地として利用され、特に海の関所である船改番所が設置された時代は、「出船入船三千艘」と称される繁栄を迎えました。

幕末には、ペリー来航により締結された日米和親条約により下田が開港場となり、その後、ハリスが玉泉寺に日本初の総領事館を開設しました。また、ロシア使節プチャーチンが来航し、日露和親条約が締結されるなど、日本開国の表舞台として、日本の歴史上に大きく名を残しています。下田市内には当時の史跡や資料などが数多く残されているとともに、国際交流の息吹が現在まで脈々と受け継がれています。

「下田ロープウェイ」で遊びながら、寝姿山から見られる絶景や幕末の歴史を感じていただきたいです。また、下田市に遊びに来て、実際に絶景を見ていただきたいと思います。



～下田市ってどんなまち？～

○概要 静岡県 of 東南部、伊豆半島の南部東側に位置する観光都市

人口：約2万人 市の木：大島桜、市の花：アジサイ

○姉妹都市：

- ・アメリカ合衆国ロードアイランド州ニューポート市（1958年5月17日締結）
- ・群馬県沼田市（1966年5月7日締結） ・山口県萩市（1975年10月28日締結）

○友好都市（御用邸所在地友好都市）

- ・神奈川県葉山町（2022年1月14日締結） ・栃木県那須町（2022年1月14日締結）

※下田市グローバルCITYプロジェクトの詳細につきましては、こちらをご覧ください。

<https://www.city.shimoda.shizuoka.jp/category/shimodagurobaru/150719.html>

ワックルはかせプロジェクト支援募集

SDGs活動に取り組んでいる企業と一緒に本来破棄されてしまうような食品プラスチックトレーや空ら箱などを使用して作る「ワックルはかせ」は知育工作を通じて環境問題を子供たちと一緒に考えながら少しでも綺麗な海や空気・水を生み出していけるように願い公演や教室を開催しております。そんな「ワックルはかせ」プロジェクトを支援して頂ける企業を公募しております。詳しくはお問い合わせください。

info@wakkuru.jp